



おと かい しゃ
\\ 音にこだわり音で感動を伝える会社 //

ジャパン せい ぞう かい しゃ
JAPANイヤホン製造株式会社 イヤホン製造

所在地 新城市大野上野53-1 TEL 0536-32-1351



知る人ぞ知るイヤホンメーカー

スマートフォンやタブレットなどで音楽を聴く時、イヤホンは欠かせないアイテム。みなさんもイヤホンを通して、テンションが上がったり、癒されたり、様々な感動を味わっていますよね。新城市が誇る名湯「湯谷温泉」の近くに、「音がヤバイ!」と、全国から注目されているイヤホンメーカーがあります。それが「JAPANイヤホン製造株式会社」です。



だいひょうとりしまりやく
代表取締役

ない とう あき ふみ
内藤 亮文さん

たい ぶつ だい かい
大の音楽好きで、
NHKのど自慢大会に
出場したことも
あるそうです!



工場閉鎖の危機!

しゃ ちょう ない とう あき ふみ
社長である内藤亮文さんは、もともと大手企業
のイヤホンを作る新城工場の責任者として、15
年間イヤホンの製造に携わってきました。工場
長に就任した当時は月間8万5000台を製造す
るほど活気があったそうですが、時代とともに製
造拠点は人件費の安い海外に移っていきまし
た。工場長就任から15年目、遂に本社の決定
により新城工場の閉鎖が決定してしまいます。



ピンチをチャンスに!

工場閉鎖は決まりましたが、海外に製造拠点が移り、新城工場で培った技術が失われることに危機感を覚えた内藤社長は、「MADE IN JAPANを絶やしたくない!」との想いと、ふるさと新城の産業に貢献したいとの想いで新会社を立ち上げることを決意。こうしてとことん音にこだわるイヤホンメーカー、JAPANイヤホン製造株式会社が誕生したのです。

一つ一つ手作業でいいいに組み立てます。
時間はかかりますが、このこだわりが
クオリティの高い音を生み出します。



開発に1年を費やす

会社設立後、実に1年という時間をかけて製品開発を行った内藤社長。思い通りに作業が進まない時は、寝るのも忘れるほど音の調整に没頭して、気が付いたら朝だったということもたびたび。試行錯誤を繰り返し、3番目の試作機が東京の老舗イヤホン店に認められ、ようやく販売できる製品が完成。自社ブランドである「JAPAEAR」のイヤホンは、音のクオリティがすごいと、たちまち話題となり、発売からわずか1ヶ月半で売上目標を達成し、全国紙などの大手メディアもその反響を取り上げました。

最高の音質で音を楽しもう!

まるでヘッドホンやステレオで聴いているような、空間的な音の広がりを感じるJAPAEARのイヤホン。高いものだと10万円以上する製品もある高級ブランドですが、3,000円台で購入できるお手軽な価格帯のイヤホンも登場しています。



戦国武将をモチーフ!

長篠・設楽原の戦いがあった新城市に本社を置く会社として、戦国武将の家紋をモチーフにしたデザイン
のイヤホンを作り地域もPR。大河ドラマの影響で話題になるかも!?

サクラガイのイヤホン

内藤社長が、海岸で貝殻を拾って遊ぶ子どもたちを見てひらめいたイヤホン。桜色に美しく輝く本物の貝をあしらいました。

幸せを呼ぶとも言われる
サクラガイ!
贈り物にもぴったりのイヤホンです。

実際にイヤホンから音を聴くとその違いが分かります。



INTERVIEW



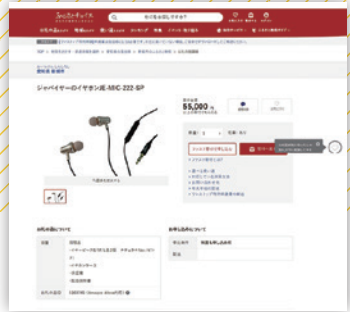
JAPANイヤホンが目指すもの

ユーザーや同業者から、高い評価を得たJAPAEAR。さらなる人気ブランドに成長させたいかという、内藤社長の

考えはちょっと違います。「世間には何千何万という種類のイヤホンがあり、東京で開催される展示会には、ものすごい数のメーカーがブースを出しています。そんな中で、私たちのイヤホンを手にとってくれた人に、運命を感じてもらえるような“知る人ぞ知る”メーカーになりたいと思っています。多くの人を通り過ぎていっても、私たちのブースを目掛けて来てくれるファンがいる。そんな人との絆をいつまでも大切にしたいです。」

新城市のふるさと納税返礼品にも!

JAPAEARの高級イヤホン各種は、新城市のふるさと納税返礼品に選ばれています。



社長からみんなに MESSAGE

人とつながりを大切に

仕事も生活も全て、誰かとのつながりの中で私たちは生きています。人生で何度もくじけそうになったことはありますが、その都度、家族や友人、仕事仲間が支えてくれました。今、私や会社があるのも人とのつながり、絆を大切にしてきたからだと思います。みなさんもぜひ良い出会いをしてください。

